



ふじさんネットワーク

FUJISAN
NETWORK

URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

VOL.52



三ツ峠(西桂町)より

富士山憲章(行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

目次

Contents

1. 活動体験
2. 自然観察会
3. 富士山エコレンジャー
4. 会員活動紹介

1 活動体験

参加者が富士山の自然環境保全活動について直接体験する、活動体験事業を実施しましたので、その様子を紹介いたします。

1 富士山の自然観察会と、第2回外来植物撲滅大作戦

日 時：9月10日(土)10時から14時まで

参加者：47名

場 所：富士山御殿場口新五合目周辺

案 内：NPO法人 富士山の森を守るホシガラスの会

内 容： 富士山御殿場口新五合目に広がる火山荒原において、午前には自然観察、午後には外来植物の除去を行いました。

自然観察では、植生遷移が分かるパッチ(植物が群状に分布する場所)や、登山道沿いの地面に組まれた野鳥の巣、森林内で交雑する針葉樹などについて、間近に見て、触れながら解説を受けました。

除去活動では、五合目の東側に生えたヒメスイバを主な対象として、24kg分を抜き取りました。



雪崩などで消失した森林が、復元していく過程を観察しました。



雄大な五合目の景色を背に、駆除活動を行いました。

2 富士山の草原性植生保全活動体験(草刈)

日 時：10月1日(土)10時から14時まで

参加者：15名

場 所：富士宮市根原(根原県有地)

主 催：静岡県・富士宮市・ふじさんネットワーク

協 力：NPO法人 富士山自然の森づくり

富士宮自然観察の会

内 容： 朝霧高原にある根原県有地は、富士山麓を代表する自然的景観と草原特有の貴重な生物相を有しています。このような草原は適切に人の手が加えられることで、その地域固有の生態系を維持しています。

富士山麓ではかつて、かやぶき屋根の材料や薪、肥料として草を刈ることにより、多様な生き物が暮らす草原が保たれていました。

そうした自然の素材を利用することが少なくなった現在では、定期的に草刈を行わないと、草原が森林へと遷移し、それまで暮らしていた生き物が居場所をなくしてしまいます。

このため、一般ボランティアを募集し、草原性植生の維持のため草刈活動を体験しました。



あいにくの雨の中、背の高いスキを中心に刈っていきました。



草刈の後は、背の低い植物にも日が当たるようになりました。

3 富士山クリーンアップ登山Ⅱ

日 時：10月15日(土)9時30分から14時まで

参加者：県内大学に通う留学生、浙江省からの静岡県短期留学生 計29名

(国籍)中国、インドネシア、韓国

場 所：富士山富士宮口五合目から宝永火口 往復

案 内：富士山エコレンジャー

内 容： 世界遺産である富士山では、今後も様々な国から多くの方が来訪することが予想されます。そこで、留学生を主な対象として、富士山の自然や登山マナーを学びながらごみ拾いを行う環境学習型の清掃活動を実施しました。

参加した留学生からは、「登山道にごみが少なく、びっくりした。母国の世界遺産とは大違いなので、ごみの持ち帰りを広めていきたい」、「自然解説付きで活動できたので、富士山が火山であり、一度噴火で消滅した植生が、再びよみがえっていく過程にあることが分かった」といった感想が寄せられ、好評を得ました。

参加者には、母国で富士山の素晴らしさやマナーを伝える役割を担ってもらうことを期待いたします。



落石防止のため、ヘルメットを着用して活動しました。



植生が再生していく最前線に関して解説を行いました。

4 秋の富士山ごみ減量大作戦

日 時：10月29日(土)9時30分から11時30分まで

参加者：66名

場 所：裾野市須山周辺

主 催：静岡県・静岡第一テレビ24時間テレビチャリティー委員会・裾野市、
ふじさんネットワーク

内 容： 富士山の環境保全対策を推進するとともに、環境保全意識の高揚を図るため、ボランティアによる清掃活動「秋の富士山ごみ減量大作戦」を実施しました。

当日はあいにくの雨天でしたが、参加者の皆さんは真剣にごみ拾いに取り組んでくださいました。その結果、可燃ごみと不燃ごみ各120kg、計240kgものごみを回収することができました。

また、主催の裾野市の協力により、裾野市立富士山資料館の無料見学も行われました。



夏の観光シーズンに溜まったごみを回収しました。



雨の中でも、多くのごみが見つかりました。



缶やペットボトルだけでなく、家電、タイヤなども見つかりました。



参加者全員で記念撮影を行いました。

2 自然観察会

富士山の自然と恵みに触れ、親しむことで、その素晴らしい自然環境を守っていく意識を高めていただくため、川と山の両方で自然観察会を実施しました。その様子を紹介します。

1 「富士山の自然と恵み 柿田川」親子で水に親しむ自然観察会

日時：8月14日(日)9時30分から12時まで

場所：柿田川公園(駿東郡清水町)

参加者：31家族 98名

案内：(公財)柿田川みどりのトラスト、柿田川自然保護の会

内容：富士山からの恵みである湧き水で形成された柿田川に直接入って自然観察を行う、貴重な機会を設けることができました。

開会式で、案内役から「8月11日が、『山の日』として新たに祝日になったが、柿田川の水は富士山からやってきている」こと、「柿田川の生きものや植物に触れて豊かな自然を実感し、保全の気持ちを持ち続けてほしい」ことが説明されました。

川に入った後、親子で捕まえた生き物を水槽に集め、案内役から名前や生態の解説を受けました。

今回は、ウツセミカジカ、ホトケドジョウ、ミシマバイカモ、ヒンジモといった貴重な絶滅危惧種・準絶滅危惧種をはじめ、テナガエビ、ハグロトンボといった生きものを観察しました。(捕まえた生き物は、外来種のアメリカザリガニを除いて、すべて川に返しました。)



親子で一緒に、川の中の生き物を探しました。

2 「山の日制定記念」 富士山高鉢山自然観察会

日時：8月21日(日)10時15分から14時25分まで

場所：富士山自然休養林内 富士山高鉢山からブナ広場から西白塚駐車場

参加者：50名

案内：富士箱根伊豆自然観察指導員連絡会

内容： 8月11日(木)は、新しく国民の祝日に制定された「山の日」です。また、今年には富士箱根伊豆国立公園が指定されてから、80周年の節目です。

これを記念して、富士山の1合目から2合目に当たる美しい森林帯をハイキングしながら、動植物の観察会を行いました。

モミ、カエデ、ブナなどの木々とのふれあいの中で、森と人とのかかわりや、素晴らしさを感じることができました。



シナノキの解説



豊かな緑に覆われた林内

3 富士山エコレンジャー

(1)主催者が開催した「ウルトラトレイル・マウントフジ2016説明会」への参加

ウルトラトレイル・マウントフジの主催者により、9月2日に裾野市須山支所で「コース及び環境モニタリングの説明会」が開催され、富士山エコレンジャーからは吉永副会長が出席しました。

今年は、昨年開催された環境省・静岡県主催の意見交換会とは異なり、既に決まったコースの説明として、会議が開催されました。

富士山エコレンジャーの要望に応じ、モニタリング基準の設定やモニタリング箇所の増設などの対応がなされたものの、環境負荷が大きい側火山周辺コースの「迂回」の要望については、主催者から明確な回答は得られませんでした。

今後もこういった場を設け、対話を続けていくこととなりましたので、引き続き、環境への影響を注視し、レースが適切に運営されているか確認していく必要があります。



会議の様子

出席人数：16名

参加団体：環境省(沼津・富士五湖自然保護官)

静岡県自然保護課、須山登山道保存会、須山振興会

主催者(事務局、裾野市商工観光課 生涯学習課)

(2)「ウルトラトレイル・マウントフジ2016」のコース事前事後調査

昨年に引き続き黒塚、須山口登山歩道において、富士山エコレンジャーによるウルトラトレイル・マウントフジのコースの植生保全環境調査が実施されています。

レース当日は荒天で、落雷や涸れ沢の急な増水等により、ランナーの安全が確保されないとして、一周レースはコース短縮、半周レースは途中中止となりました。

しかし、半周レースにおいて1,000人を超えるランナーに利用された須山口登山歩道では、歩道のエグレや拡幅、主催者が設置した丸太の流出、植生の踏みつけが確認されました。

主催者が行った環境モニタリングの結果も踏まえ、今後も主催者に適切な対応を求めていきます。

第1回	日 時 9月22日(木) 8時から13時まで 参加者 富士山エコレンジャー 3名
第2回	日 時 9月24日(土) 13時から18時まで 参加者 富士山エコレンジャー 2名
第3回	日 時 9月25日(日) 8時から16時まで 参加者 富士山エコレンジャー 2名
第4回	日 時 10月26日(水) 8時から13時まで 参加者 富士山エコレンジャー 4名

4 会員活動紹介

富士自然観察の会

富士市富士岡296

TEL・FAX 0545-34-3659

本会は、昭和60年に発足し今年で32年目になる会です。「自然に親しみ、自然を理解し、自然を保護する」をスローガンに身近な自然や富士山周辺の自然の観察を通して感動体験を積み重ねてきました。会員は、富士市を中心に富士宮市・沼津市・静岡市・伊豆の国市から集まった155名で構成されています。我が会の特徴は、会長をはじめとした運営委員が30名と多く、植物・野鳥・蝶・地層・星座・自然遊びと多彩な指導者がそろっていることです。そのため多種多様な観察会が可能です。

主な観察内容の紹介をします。

◎浮島ヶ原自然公園のガイド

年間を通して土日祭日に公園ガイドをしています。特に市指定天然記念物の絶滅危惧種のサワトラノオを中心としたサワトラノオ祭りを5月第一日曜日に行っています。



浮島ヶ原自然公園観察会

◎年間行事

- ・年間15回の観察会を実施
(植物・バスハイク・リース作り
キノコ・アニマルトラッキング・星座・野鳥観察等)
- ・毎月1回実施(平日観察会年間12回、須津川観察会
年間12回、こどもの国観察会年間12回)計年間36回
合計51回の自然観察会を実施しています。
(延べ参加者は、昨年度1,250名でした。)



富士山麓自然観察会

◎支援活動

- ・富士市の環境活動への支援
市ブナ林観察会講師派遣、少年自然の家講師派遣、
学校環境教育講師派遣
- ・こどもエコクラブへの支援
自然観察会の案内提供と指導(富士山大作戦等)
- ・まちづくりセンターへの支援
自然塾講師派遣、環境学習講師派遣、
各種活動講師派遣



エコクラブへの支援

※活動の様子や案内は、次のホームページ及びブログにて掲載してありますのでアクセスしていただければありがたいと思います。

「浮島ヶ原自然公園」(会全般) 「自然発見・自然遊び」(会長ブログ)



2016年12月 vol.52

編集・発行 / ふじさんネットワーク事務局

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課内

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話054-221-2963 ファックス054-221-3278

E-mail 3776fuj@pref.shizuoka.jp URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 増澤 武弘
(静岡大学客員教授)
- 会員数 492団体・個人 (H28.11.30現在)